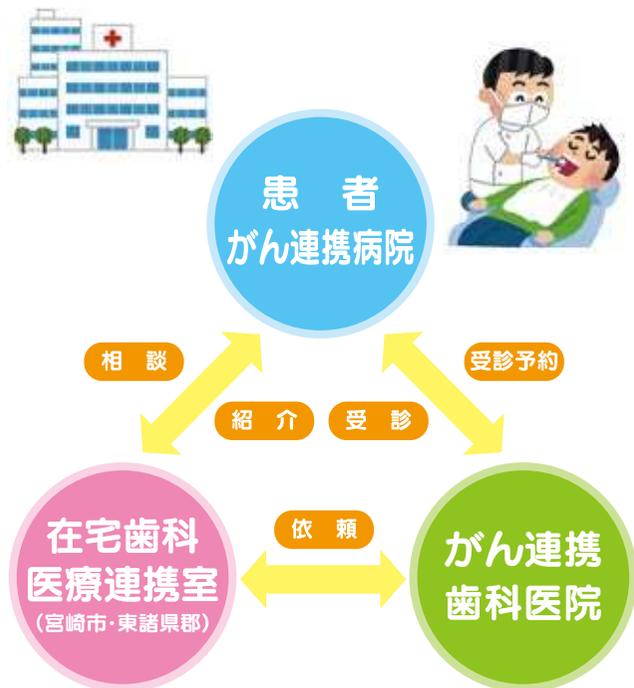


がん連携歯科医院受診の流れ



在宅歯科医療連携室へご相談ください

入院前・入院中・退院後の口腔ケアに関する事は、在宅歯科医療連携室にご相談ください。地元のがん連携歯科医院をご紹介します。

また、かかりつけ歯科医院がある場合も、ご相談ください。



お問い合わせ先

がん医療連携相談窓口

窓口本部	0985-29-0055
宮崎支部	0985-83-3312
都城支部	080-1760-1349
延岡支部	090-5933-8290
日南支部	090-5734-2839

がん治療における 口腔ケア



宮 崎 県

宮崎県歯科医師会

がん治療を始める前の口腔ケアや 歯科治療を行う大切さ

がん治療中は、全身に様々な副作用が発症しますが、口腔内も大きな影響を受けます。

特に、抗がん剤治療で起こる口内炎や歯が原因の感染、放射線治療で起こる口内炎・口腔乾燥の症状で口から食事や水をとる事が出来なくなります。その結果、体力が低下してしまい、がん治療が一時中断することもございます。

また、全身麻酔の手術においては、口腔内の衛生状態が悪いと、口から喉の奥に人工呼吸器が入ることにより、細菌が気管の中に入り肺炎に感染するリスクが高まります。

こうした口腔内のトラブルを未然に防ぎ、術後の回復を早めるためにも、がん治療開始前に歯科を受診して、口腔ケアや必要があれば歯を治療しておくことが必要です。退院後も、定期的に歯科医院を受診し、口腔内を清潔に保ちましょう。

がん治療と口腔内トラブル

手術

- 傷口の感染
- 肺炎(口や喉、食道の手術を受ける場合)

抗がん剤治療

- 口内炎
- 歯や歯ぐきの感染
- 味覚の変化
- 口腔内乾燥
- 口周りのしびれ感
- 粘膜の感染

放射線治療

- 口内炎
- 味覚の変化
- 口腔内乾燥
- 顎骨の感染
- 開口困難

がん治療前の歯科処置(術前口腔ケア)

がん連携歯科医院とは。

がん治療を安全に受けるための歯科処置や口腔ケアについての知識を習得した歯科医師、歯科衛生士のいる歯科医院です。

どのようなことをするの。

- 口腔ケアの説明
- 口腔内診査
- 歯周基本検査
- スケーリング(歯石除去)
- PMTC(機械的歯面清掃)
- PTC(歯ブラシや補助用具による歯面清掃)
- セルフケアの指導(ご自身での口腔清掃の仕方を指導)
- 必要な歯科処置(動揺歯の固定、抜歯などの処置)

がん治療前に必要なお口のケアは、歯ブラシでとれない細菌の汚れの清掃と、適切な歯ブラシ方法の指導が中心です。通常1~2回の歯科受診で終わることができます。保険が適用される範囲の処置で、ケアだけであれば費用は、3000円程度です。
(その他の歯科処置の内容により変わる可能性もあります。)